

機能強化策の実施状況

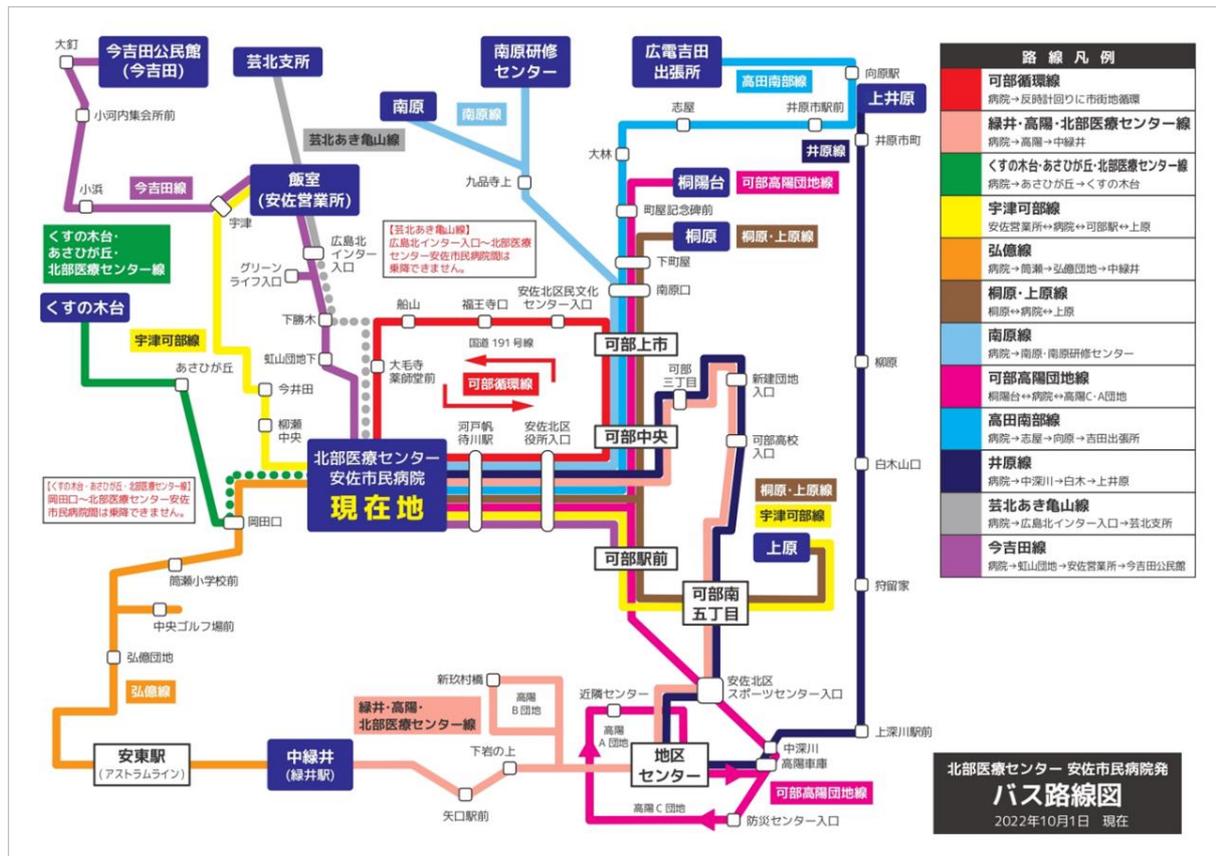
① 広島市立北部医療センター安佐市民病院へのバス路線の新設

【計画期間内の取組】

広島市立北部医療センター安佐市民病院の開設に併せ、バス路線を新設するとともに、電気バスの導入を検討する。

【令和4年度における取組状況】

令和4年5月の広島市立北部医療センター安佐市民病院の開院に併せ、新たなバス路線を運行開始し、このうち、可部循環線において、令和4年11月に電気バスを導入した。



広島県バス協会・広島バスセンター作成

(北部医療センター安佐市民病院)



(可部循環線に導入した電気バス)



画像は広島交通 HP より引用

② 路線のフィーダー化

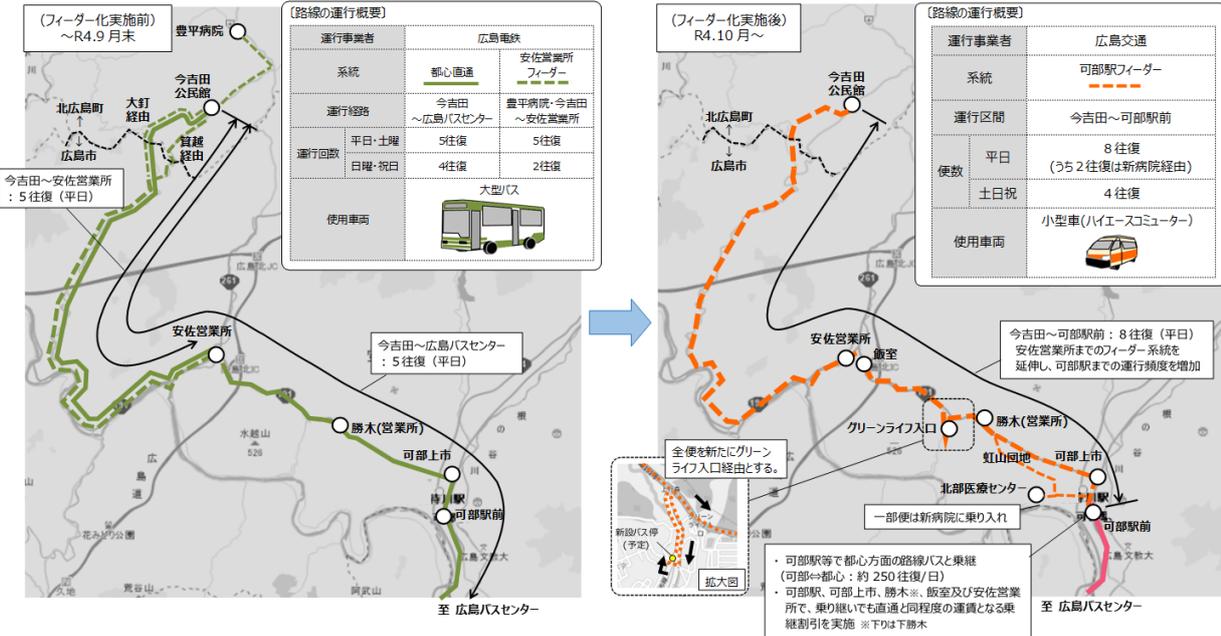
【計画期間内の取組】

乗継割引の拡充を前提に、路線のフィーダー化を行う。

【令和4年度における取組状況】

本市と北広島町を結ぶ今吉田線について、令和4年10月から可部駅でのフィーダー化を行った。フィーダー化に当たっては、可部駅等で都心方面の路線バスと乗継利用した場合に、フィーダー化実施前に直通利用した場合と同じ運賃とする直通乗継割引を導入した。

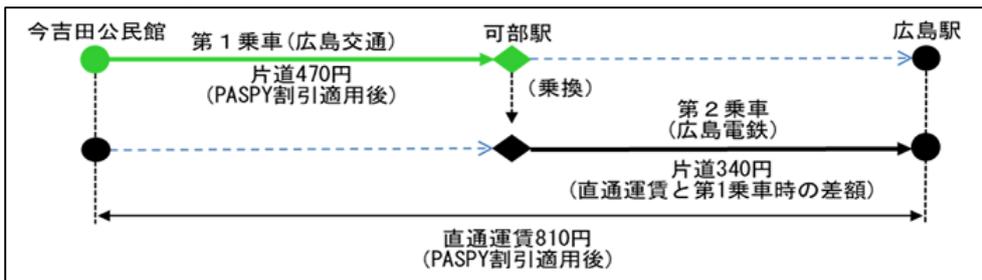
(今吉田線のフィーダー化)



(フィーダー化にあわせて導入した小型車両)



(直通乗継割引の例)



画像は広島交通 HP より引用

③ 地域主体の乗合タクシー等の導入支援

【計画期間内の取組】

地域から移動手段の確保について相談が寄せられている以下の地区等において、地域の実情に合わせた乗合タクシー等の導入支援に取り組む。

・福田地区（東区）、戸坂地区（東区）など

【令和4年度における取組状況】

東区福田地区において実験運行を開始するとともに、東区戸坂地区においては、令和5年度に予定する実験運行の実施に向けて運行形態等の検討を進めた。



実験運行の様子（東区福田地区）

④ 待合環境の整備

【計画期間内の取組】

バス路線再編等により乗継が生じる交通結節点等において、周辺の民間施設への待合スペースの設置など民間の協力も得ながら、待合環境や乗継環境の向上に取り組む。

【令和4年度における取組状況】

北部バス路線のフィーダー化に伴い、乗継地点の一つとなる可部上市バス停の待合環境の向上を図るため、令和5年3月に安佐北区総合福祉センター内へバスロケーション表示器を設置した。

(安佐北区総合福祉センター)



(ロビー)



⑤ JR 可部線下祇園駅の利便性向上

【計画期間内の取組】

令和5年度末の供用開始を目指し、自由通路整備及び駅改良に取り組み、その後、駅アクセス道路等を整備する。

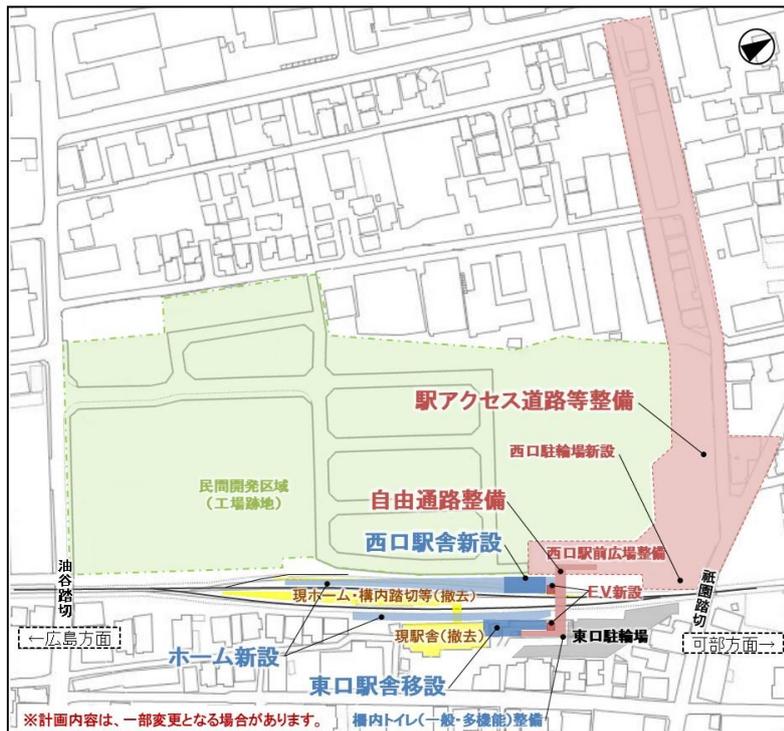
【令和4年度における取組状況】

本市が自由通路整備工事を進めるとともに駅アクセス道路等の用地取得に取り組み、JR 西日本においては駅改良工事に取り組んだ。

(位置図)



(計画案)



⑥ 路面電車駅前大橋ルートと循環ルートの整備

【計画期間内の取組】

令和7年春の供用開始を目指し、路面電車駅前大橋ルートと循環ルートの整備に取り組む。

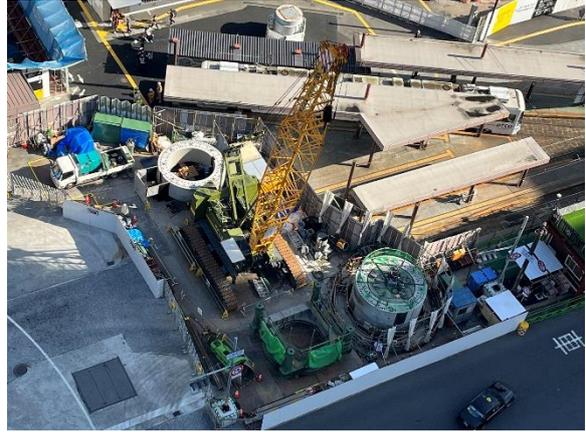
【令和4年度における取組状況】

路面電車の高架橋の下部工や中央分離帯の撤去など軌道整備のための工事を行った。

(工事状況)

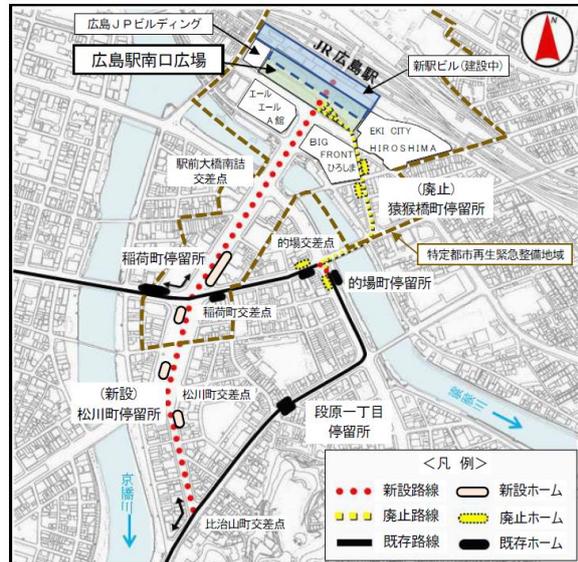
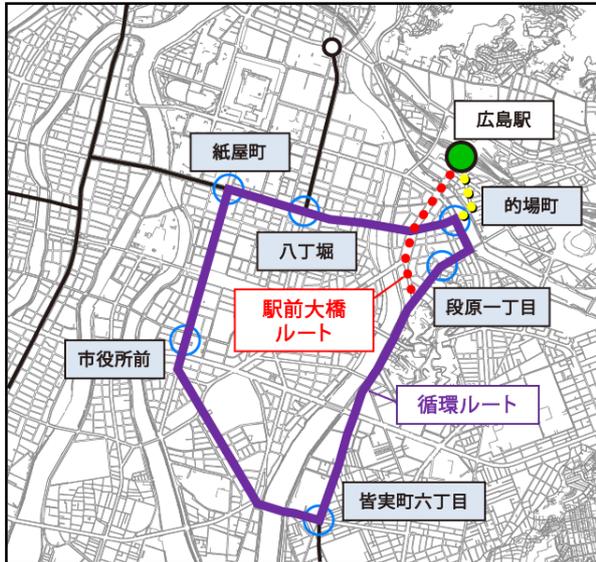


駅前大橋の改修作業



路面電車高架基礎工事

(路面電車のルート図)



⑦ 旅客船ターミナルのバリアフリー化

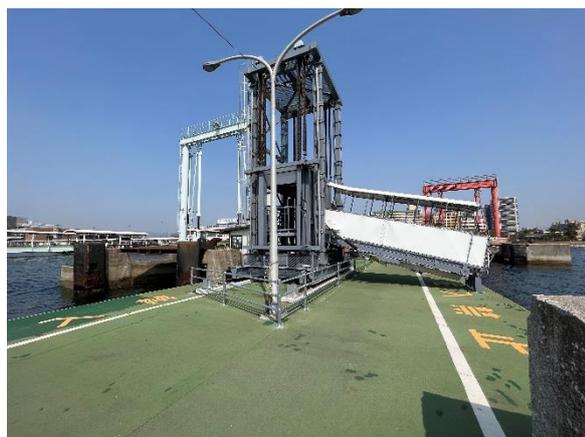
【計画期間内の取組】

令和4年度に広島港にボーディングブリッジを設置する。

【令和4年度における取組状況】

広島港にボーディングブリッジを設置した。

(ボーディングブリッジ設置状況)



※ボーディングブリッジ

旅客船に直接接続し、乗員や乗客が乗船する通路となるもの。段差なく乗船できることからバリアフリー化が可能となるとともに、天候にも左右されないことから、大きな荷物を持った観光客等を含め、乗降の円滑化を図ることができる。

⑧ JR 西広島駅周辺地区交通結節点整備

【計画期間内の取組】

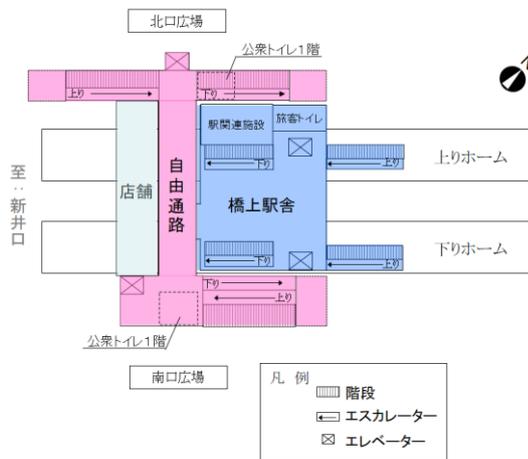
南北自由通路の整備や南口駅前広場の再整備については、令和4年度の完成を目指す。
北口駅前広場及びアクセス道路については、令和7年度末の完成を目指す。

【令和4年度における取組状況】

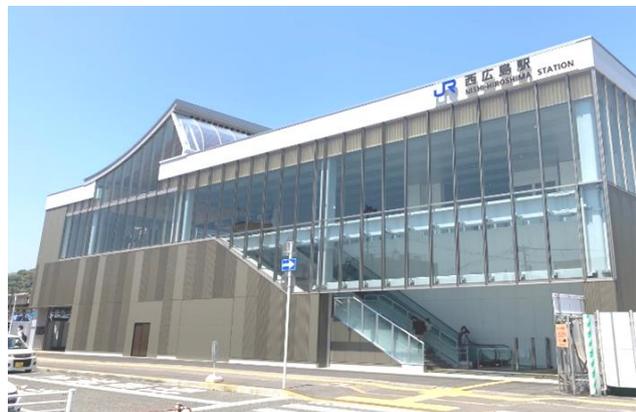
令和3年度に暫定供用した西広島駅自由通路及び橋上駅舎について、残りの工事が完了し供用を開始した。また、南口駅前広場の再整備に取り組んだ。



(位置図)



(平面図)



(南口外観)

⑨ わかりやすく使いやすい運賃体系等の構築

【計画期間内の取組】

利用者にとってわかりやすく使いやすい運賃体系の構築に取り組む。

【令和4年度における取組状況】

令和4年11月から、路線バスの均一運賃エリアを都心部からデルタ市街地内全域に拡大するとともに、路線バスと電車において同一運賃化を実施した。

また、これに併せて、「広島シティパス（均一運賃エリア内の路線バス及び電車を相互に利用可能な乗車券）」の利用可能範囲をデルタ市街地内全域に拡大した。

